



# 学校だより

令和8年5月29日  
横浜市立権太坂小学校  
6月号

学校教育目標: 友達が好き 自分が好き たくましく伸びる 権太坂の子

明日は、権太坂小の運動会！！

校長 佐々木 和美

いよいよ明日、5月30日（土）は運動会です。今年は例年にも増して暑さが心配される状況であり、まだ身体が暑さに慣れていない子どもたちの体調を第一に考えながら、準備を進めてまいりました。熱中症の予防や疲労の軽減について、教職員で繰り返し話し合い、練習時間の工夫や休憩・水分補給の確保など、安全面に十分配慮してきました。

練習が進むにつれ、子どもたちはそれぞれの場面で本気で取り組む姿を見せました。演技では表現することの喜びが広がり、徒競走では自分自身への挑戦が見られました。リレーでは仲間へ思いをつなぐ真剣さがあり、応援団には全体を引っ張ろうとする責任感が感じられます。全校で行う大玉送りでも、ルールを守って、赤白競い合う楽しさが滲み出ていました。開閉会式の練習にも熱がこもり、集団としてのまとまりも少しずつ高まっています。6年生にとっては小学校生活最後の運動会、1年生にとっては初めての運動会です。そして他の学年にとっても、この仲間、この時、今の気持ちで行う運動会は一度きりです。自分自身がうまくいなくても精一杯頑張ったと思えるように、しっかり向き合ってほしいと思います。

しかしながら運動会を楽しみにしている子もいれば、少し不安を感じている子もいます。ある種目は好きでも、別の種目は苦手という子もいます。これだけ多くの子どもたちがいれば、気持ちや考え方は一人ひとり大きく異なります。そのような中で、なぜ私たちは運動会を行うのでしょうか。それは、違いを持つ一人ひとりが集い、同じ時間を共有しながら、一つの行事を創り上げることに大きな意味があるからです。自分の役割を果たし、仲間と支え合い、努力を認め合う経験は、子どもたちの成長にとってかけがえのないものとなります。

また、この運動会は子どもたちの頑張りだけでなく、保護者の支えや教職員の指導、地域の皆様の見守りによって成り立っています。学校運営協議会においても「この時期の開催が適切か」「子ども主体の運動会をどのように成立させるのか」等といったご意見やご助言もいただきました。本校ではそういったお言葉を大切にしています。

明日はぜひ、子どもたちのありのままの姿をご覧ください。得意なことも、そうでないことも含めて、精一杯取り組む姿に温かいご声援をお願いいたします。そして、これからの運動会の在り方について、さまざまなご意見やご提案をお寄せいただければ幸いです。今後も子どもの言葉や皆様方のご意見をよく聞いて、運動会の在り方について、よりよい形を模索していきます。

一人ひとりの違いを大切にしながら、共に創り上げる運動会。その一日が、子どもたちにとって豊かな学びの機会となることを願っています。

